

活動名	自己尊重感を高めるワークショップ
代表者氏名・所属	林美子:人間文化創成科学研究科 ジェンダー社会科学専攻 M2
構成員氏名・所属	安藤真由美:人間文化創成科学研究科 ジェンダー社会科学専攻 M2 大類由貴:公益財団法人ユネスコ、アジア文化センター 濱田真里:人間文化創成科学研究科 ジェンダー社会科学専攻 M1 下川自子:人間文化創成科学研究科 ジェンダー社会科学専攻 M1

10月、11月に、「自己尊重感を高めるワークショップ」という題で、お茶の水女子大生を対象とした5回のワークショップを開催しました。世界各地でセクシャルハラスメントを告発する#MeTooの動きが拡大し日本でも2017年に性犯罪規定が110年ぶりに本格改正されるなどの動きの中、日本では#MeTooの動きが十分高まっているとは言い難く、その根底には女性の自己尊重感の低さが横たわっているとされています。そこで「自分を尊重するとはどういうことか」「自信を持って発言し活動して行くにはどうしたらいいか」を実践的に学ぶことで、お茶大生のグローバル女性リーダーとしての活躍を支えエンパワメントにつなげていくことを目標として、学部生を対象に本講座を試みました。

全5回の講座を通して、元本学教員であり日本にフェミニストカウンセリングを紹介したフェミニストカウンセラーの草分け的存在である、河野貴代美さんをお招きして講義やトレーニングをしていただきました。どの回も実践を中心とし、女性の心理と自己肯定感についての講義やその前提となるアサーションという方法を、ロールプレイに乗せながら参加者の中に落とし込むワークショップが行われました。各回、参加者自らの体験を持ち出し、それらを元にワークを進めることができました。また、授業や開催時間との関係で全回出席できた方は少なかったことが残念ですが、申し込みに定員以上の応募があるなど、「自己尊重を高める」というテーマに関心を持っている学生が少なからずいることが把握できました。

自己肯定感を高める決められた方法はありませんが、河野さんの生き様やこれまでのご経験をも伺いながら、「個を確立させ、周りを気にしすぎないこと」「自分の気持ちを大事にし、相手にそれを伝えること」がグローバル女性リーダーとしての資質のひとつとして重要であるのではないかと思います。本講座を通じて、参加者だけでなく、学生主催メンバーにも大きな学びがありました。機会があれば、ぜひまたこういった講座を開催したいです。

